



静岡県地方版
第376号
2023-4-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの
運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

袴田さんの一刻も早い無罪確定を

県本部事務局次長 平塚 倫豊

3月後半のマスコミは、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）の報道に埋め尽くされました。

テレビをつければ、準決勝・メキシコ戦、村上のサヨナラツーベース、決勝・アメリカ戦、大谷が最終打者トラウトをスライダーで三振に打ち取ったシーン、何回見たのか数えきれません。日本人に勇気を与えたこと、数百億円の経済効果を否定するつもりはありませんし、何よりも出場選手の努力は称えられるべきでしょう。しかし、「野球報道を多少けずっても、報道すべきことがあったのでは？」と考える方も少なくないと思います。

WBCに隠れて、私たち旧清水市民にとっては、とてもうれしいニュースが地味に報道されました。19

66年に、みそ製造会社の専務一家4人が殺害された、いわゆる「袴田事件」で死刑が確定した袴田巖さんの再審開始を認めた東京高裁の決定について、3月20日、東京地検が最高裁への特別抗告断念を発表しました。

3月13日の再審決定文書の中では、長年、争点になってきた『みそタンクからみつかった5点の衣類』について「一年以上みそ漬けされていたと確定判決が認定した事実」に合理的な疑いを生じさせる」「事件から相当時間経過した後第三者が隠匿した可能性が否定できず、事実上、捜査機関の者による可能性が極めて高い」とまで言及しています。再審が開始されれば、無罪の可能性が極めて高くなりました。袴田さん以前に、死刑判決が再審無罪になった冤罪事件が4例ありますが、逮捕から35年以内に決着しています。袴田さんの場合はすでに57年、1日でも1秒でも早い無罪確定を願わずにはいられません。

（静岡市清水区・ひらつか みちとよ）

第六回県本部理事会を開催

4/11静岡市の国労会館において第6回県本部理事会が、理事11人の参加のもとに開催されました。

最初に江川佐一会長が開会のあいさつ。統一地方選の前半戦のとりくみごころうさまでした。ひきつづき後半戦でもがんばりましょう、と述べた後、3月27日、ロシアのプーチン大統領が隣国のベラルーシに戦術核兵器を配備することを表明し、原水協・平和委員会が直ちに抗議声明を発表したと、3月30日には日本共産党の志位委員長が記者会見して「日中両国関係の前向きな打開のために」と題する提言を発表するなど、戦争か平和かをめぐる問題が依然として重要な問題になっている情勢の下で、国賠同盟中央常任理事会が呼びかけている「国賠署名・会員拡大の目標達成・特別期間」に全力で応えていこうとの訴えがされました。

続いて山田巖副会長が情勢報告。1、統一地方選のとりくみについて。2、暮らしと経済の問題について。3、原発問題と納税者の自主申告運動について。4、国際情勢。5、県内情勢、についてふれました。

統一地方選前半の道府県議選では、政治革新の中心を担う共産党の議席が99から77と22議席後退、共産党の議席が無いところが6県となり、静岡県も貴重な1議席を失い空白県となる残念な結果となりましたが、23日投票の後半戦の市町議選に向けて、岸田政権の大軍拡を許していいのかがどうかが大争点になっているとで、「戦争に絶対しないための外交に

あらゆる力を注ぐことが政治の責任だ」(共産・志位委員長)の立場で頑張りぬくことの必要性が強調されました。

小中学校の給食費無償化自治体もここ5年間で76自治体から254自治体に増えるなど「オール与党」の妨害をはねのけて、市民と共産党の運動が実現している状況を示しながら、地方選の中でも重視していく必要性が述べられました。

「国賠署名・会員拡大特別期間」の推進を

活動のまとめと当面の活動方針については早崎末浩事務局長が報告しました。

3月24日に開催された国賠同盟中央常任理事会で決められた「国賠署名・会員拡大の自主目標達成・特別期間」(4/1〜6/30)を成功させるためのとりくみについて検討し意思統一がはかられました。県本部としては、国賠署名について請願行動が行われる5/16までに4000筆までに到達(昨年は2743筆)目指して推進をはかる。このためにすべての会員が5筆以上のとりくみをすすみましょう。

会員拡大では、次期県本部大会の目標である520人への関門として期間内に500人会員の実現をはかります。このために、中央が顕彰基準としている5人拡大者、10人拡大者に挑戦する人を積極的に広げながら推進をはかります。

私と国賠同盟

岳南支部 若林 志津子

国賠同盟の正式名称は治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟。ふたたび戦争と暗黒政治の復活を許さないため1968年に設立されました。治安維持法とは日本共産党のHPでは1925年に天皇制政府が制定した弾圧法で「国体を変革」「私有財産制度を否認」することを目的とする結社の組織・加入・煽動・財政援助を罰するとの内容です。高校を卒業後、大手のフィルム会社に就職し、そこで職場の先輩から労働組合の役員にと誘われ、社会の仕組みなどの勉強をしました。資本金・労働者・搾取など聞き慣れない言葉でしたが、なぜか新鮮味を感じ、スポンジに水が吸い込まれるように自然と労働者魂が私の中に生まれてきました。先輩から「労働組合は組合員の生活向上のため、世の中を平和で暮らしやすくする社会運動は別なので、日本共産党に入って世の中を変えていこう」の言葉をまっすぐ受け止めたことを覚えています。それから数年後には組合も闘う組合から同盟系のパイの理論的な組合に変質し、社内では赤攻撃が始まり、役員は組合の役員から排除されてしまいました。私も事務職からレントゲン加工現場に配属され、日本共産党の県会議員候補者となったことで、選挙後の職場では仕事の内容・賃金での差別を受けました。治安維持法が廃止されてから48年経っていましたが、思想による差別はありました。思想による差別をなくすために力を尽くしていきたいです。

(富士宮市・わかばやし しずこ)

志太榛原支部で「種まく人びと」上映と懇談

中東遠支部で行なった「種まく人びと」の上映と懇談を参考にしながら3/19に志太榛原支部が藤枝市生涯学習センター会議室で上映と懇談のつどいを開催し11人(うち会員外3人)が参加。山田巖支部長が志太榛原地域の治安維持法犠牲者6人などの資料も示しながら報告・懇談。その後の呼びかけで参加者の中から一人の入会者も生まれました。

23日投票の市町議選勝利に全力を

国賠同盟会員も多く候補者になっている一斉地方選後半の市町議選で共産党候補勝利に力を尽くしましょう。立候補者は次のとおり。(定数―現有議席)

◇沼津市(28―2)川口けい53新、岡田しんいち59現、高橋ひでこ55新 ◇三島市(22―2)河野つきえ54現、はっとり正平62現 ◇富士宮市(22―2)山口まさひろ35新、渡辺よしまさ68現 ◇富士市(32―2)笹川あさ子73現、井口たい34新 ◇下田市(13―1)さわと英信81現 ◇湖西市(18―1)おぎの利明69現 ◇熱海市(15―0)高井一幸82新 ◇東伊豆町(12―1)山田なおし64現 ◇松崎町(8―0)成川さちよ57新 ◇函南町(16―2)おおば桃子67現、三原まき子65新 ◇清水町(14―2)吉川きより61現、森野かほ27新 ◇小山町(13―1)平野まさのり58新 ◇吉田町(13―1)大石いわお75現

会員拡大と国会請願署名到達

2023・4・11現在

支部	会員拡大					国会請願署名							
	目標	2月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	2月到達	増分	現在到達	個人目標	2月到達	増分	現在到達
伊豆	27	21		21	6	50	2		2	350	15		15
沼駿	60	54		54	12	60	28	+3	31	800	215	+10	225
岳南	25	19		19	6	40	18		18	350	114	+20	134
清水	45	34		34	8	60	2	+3	5	1,100	75	+808	883
静岡	45	36		36	2	80	5	+4	9	500	116	+72	188
志太椋原	140	134	+2-1	135	34	50	17	+7	24	400	120	+55	175
中東遠	105	103	+1-1	103	20	50	29	+1	30	400	272	+22	294
西部	73	64		64	4	80	5		5	750	146		146
県本部	-	-		-		30	1	+5	6	350	42	+15	57
合計	520	465	+3-2	466	92	500	107	+23	130	5,000	1,115	+1002	2,117

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

春がすみ 桜のもとに佇めば
平和戦士の 千の風吹く

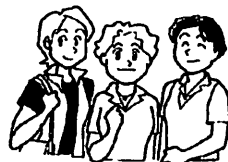
子育てや 平和と暮らし世界観
母親大会は 地球をつなぐ

終戦後 母の希いで築かれて
歴史拓きし 母親大会

大江さん 戦後若きらの生きる道
歴史に照らし 永遠に残さる

つばめたち 隊列組んで戻り来ぬ
COP15の いたみの中で

静岡 松浦美智世



編集後記

▼いつせい地方選前半戦では、維新の伸長が注目をあびていま
す。岸田政権がすすめる大軍拡路線をいっそう危険な方向に
引っ張っていく勢力が力を伸ばしていくことにはいっそう警
戒しながら対抗する力を強めていくことが求められます。

▼いつせい地方選後半戦の市町議選は、最も身近な選挙で一
一票がより勝敗につながります。必要な声を広げながら
勝ちぬくとりくみをすすめる、次なるたかいに挑んでいける
力を築けるよう力を尽くしていきましょう。

S・H